

山形県中学校総合体育大会夏季大会 熱中症対応について (ソフトテニス競技)

会場 小真木原テニスコート場

1 全体として実施すること

- (1) 近隣病院への緊急時の対応への依頼を行う。
- (2) 会場に養護教諭を配置し、体調不良者への応急処置ができる体制を整える。
- (3) 出場校に「熱中症事故防止について」の文書を配布し生徒への事前指導を行う。
- (4) 競技会場に、緊急用の氷、スポーツドリンク等を準備する。
- (5) 選手や役員の健康観察をこまめに行う。
- (6) 競技場の WBGT、温度、湿度を定期的に測定する。

2 状況に応じて競技ごと対応すること

- 1 審判台の下に水筒を置き、チェンジサービス時にも水分補給ができるようにする。(水分補給の機会を増やす)
- 2 選手、役員に着帽を徹底する。
- 3 クラブハウス内に業務用のクーラーを設置する。
- 4 WBGT 計測器を設置し、状況を把握しながら運営にあたる。WBGT によっては試合時間等の変更もあり得る。
- 5 生徒役員用に自転車小屋付近(日陰)に待機場所を設置し水分補給が常にできるようにジャグを準備する。
- 6 テントを準備し役員・選手が自由に水分補給できる場所をつくる。

3 変更の連絡について

- (1) 事前に変更が予想される場合は、県中総体参加校に「競技上の注意」を配布し周知を図る。
- (2) 具体的な内容や詳細や緊急の変更は、監督会議で連絡し周知を図る。
- (3) 状況に応じて「山形県中学校体育連盟ホームページ」に掲載する。

<http://www.cyutairen.jp>